

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

華いっぱい 夢いっぱい つづきのある学校

9月号

令和3年9月1日

大切にしたいこと

校長 田渕 恵子

秋の訪れを告げる可憐なコスモス。その繊細な姿からは想像できないほど、丈夫で生命力に溢れています。風や雨で倒されても地面に触れた茎から根を出し、また逞しく起き上がります。その姿に、逆境に打ち勝つ力強さを感じます。

今日から前期後半がスタートしました。久しぶりに会う子どもたちの姿を見ているだけで嬉しく、元気に登校してくれることに感謝の気持ちが湧いてきます。一日一日を健康に、そして安全に過ごせるようお願いしてやみません。



さて、この度、新型コロナウイルス感染拡大の状況を受けて、横浜市では9月1日(水)から13日(月)まで分散登校・短縮授業となりました。子どもたちが安心して、楽しく学校生活を送ることができるよう本校では、次の三つのことを大切に学校を再開していきます。

一つ目は、感染対策の徹底です。マスクの着用・手洗いの徹底・消毒・教室の換気・相手との距離を保つ等、基本的な感染対策を一層強化するよう全教職員で確認しました。特に給食の時間は、換気を十分にを行い、黙食を心掛けていきます。

二つ目は、学びの保障です。分散登校に向け、授業の準備、家庭学習用の課題づくり、GIGA 端末 iPad の持ち帰りの準備等を進めてきました。しばらくの間、通常の学校生活とはいきませんが、この機会をICT活用のチャンスと捉えて、一人一台のiPadの使い方に慣れ、活用できるよう発達段階に応じて工夫し、全学年で取り組んでいきます。特に「ロイロノート・スクール」を使用して、子どもたちが課題を作成し教師に提出したり、友達の考えをクラスで共有したりしながらその使い方に慣れ、学習の効果を高めていきます。また、長期化しているコロナ禍に備えてオンライン授業にも取り組み、教室内に留まらず、教室と家庭との学びを繋げるなど、双方向の学習の機会をつくるようしていきます。分散登校中でも子どもが孤立しないように学習内容を工夫し、個別最適な学びと協働的な学びの実現に努めていきます。ICTを活用した学習を積み重ねることにより、自ら見通しを立てたり、学習の状況を把握したり、新たな学習方法を見いだしたり、発展的な学習をしやすくしたりする力を高めていきます。

三つ目は、心のケアと人権への配慮です。学校生活に不安を感じている子どもたちには、心のケアを回りながら丁寧に対応していきます。悩みを抱え込まないようご心配なことがありましたら、学校までご相談ください。また、新型コロナウイルス感染症への感染は誰もが生じる可能性があります。感染者やその家族等に対する差別や偏見の防止に向け、発達段階に応じた指導を行うなど人権への配慮にも取り組みます。

以上のことを大切にしながら、子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるよう教職員一同全力で取り組んでいきます。引き続き、保護者・地域のみなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【個人面談について】 9月27日(月)～10月5日(火)まで

9月27日(月)から、今年度2回目の個人面談を行います。今回の個人面談では、前期末に子どもたちに渡す「あゆみ」の内容についてお話をさせていただきます。「あゆみ」は、お子さまの学校での生活や学習の様子などを保護者のみなさまにお知らせし、一人ひとりの成長を支援していくことを意図しています。本校では、新学習指導要領に基づき見直しを図った教育課程に伴って、今年度の「あゆみ」の形式を一部改訂いたしました。詳細は別紙にてお知らせしますが、「あゆみ」の内容について記載できていない部分をお伝えできればと考え、個人面談を実施します。お忙しいこととは存じますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。